

2026年3月期第2四半期 決算説明会



「大阪湾岸道路西伸部六甲アイランド西ランプ基礎工事」 2024年10月～11月施工

2025年11月12日
株式会社 テノックス

証券コード：1905（東証スタンダード）





売上高

90億76百万円

期初計画進捗率 38.6%

売上総利益率

19.3%

直近10年で最高

中間純利益

3億4百万円

期初計画進捗率 46.9%

受注残高

99億26百万円

北海道新幹線ピークアウト後も
高水準

従業員数

388名

直近10年で最多

1株当たり配当

年間52円

過去最高額



1. テノックスについて
2. 2026年3月期第2四半期 連結決算説明
3. 2026年3月期 連結業績予想
4. 本日本日お伝えしたいポイント
 - ① キャッシュ創出力の強化
 - ② 投資
 - ③ 配当
5. ご参考資料

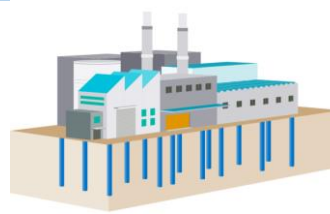
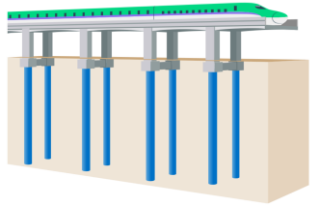


1. テノックスについて

テノックスとは



鉄道橋：ガントツパイル工法



工場：テノラム工法

私たちテノックスは、あらゆる社会インフラに不可欠な
基礎工事を通して、安全と安心を届けています



空港施設：TN-X工法, NSエコパイル工法

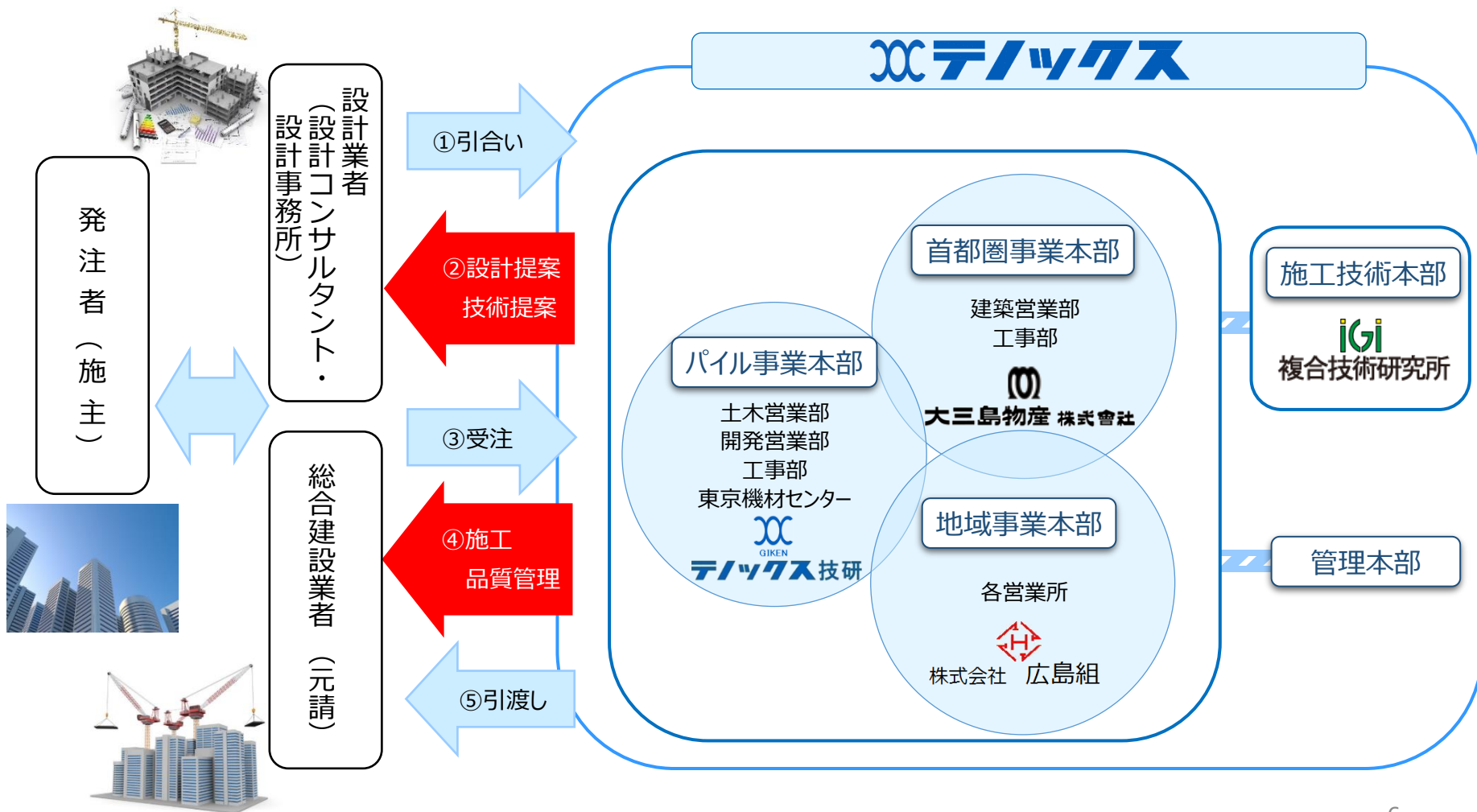


道路橋：ガントツパイル工法

出典：PIXTA（左上・左下・右下写真）



技術提案により設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現





建設投資は引き続き堅調、データセンターは拡大

建設投資

2025年度見通し **76兆6,700億円**（前年度比+4.7%） ※1

内、政府分野投資： 23兆6,100億円（前年度比+5.4%）

民間住宅投資： 16兆3,200億円（前年度比+0.9%）

民間非住宅建設投資： 20兆4,100億円（前年度比+5.9%）

コンクリートパイル需要量

2025年度予測 **214万トン**（前年度比+6.5%） ※2

セメント需要量

2025年度見通し **3,200万トン**（前年度販売量比△1.7%） ※3

防衛予算

2025年度予算 **8兆7,005億円**（前年度比+9.4%） ※4

工場着工床面積

2025年度見通し **671万㎡**（前年度比+1.4%） ※1

データセンター市場規模

2029暦年予測 **5兆4,036億円**（2024暦年比+34.5%） ※5



2026年～2028年が新設のピーク、2029年までは年平均6%程伸長

当社が得意とするセクター

不確実性

米関税政策による景気後退リスク

※1. 建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し（2025年10月）」より

※2. 一般財団法人コンクリートパイル・ポール協会「令和6年度実績見込と令和7年度予測（2025/3/25）」より

※3. 一般財団法人セメント協会「2025年度セメント需要見通し（2025/2/27）」より

※4. 令和6年12月横山主計官「令和7年度防衛関係予算のポイント」より

※5. 調査会社富士キメラ総研「『データセンタービジネス市場調査総覧2025年版市場編』まとまる（2025/3/24）」より



2. 2026年3月期第2四半期 連結決算説明

2026年3月期第2四半期 連結損益計算書（前年同期比）



- ✓ 売上高 … 「北海道新幹線」のピークアウトや、CP-X工法受注の遅れなどにより減少
- ✓ 売上総利益 … 施工効率の向上や、契約条件の最適化などの取り組みにより増加
- ✓ 販売費及び一般管理費 … 人員増および賃上げなどにより人件費が増加
- ✓ 経常利益 … 2026/3期2Qに為替差損を計上したことにより減少
- ✓ 当期純利益 … 2025/3期2Qに特別損失を計上していたことによる反動増

（単位：百万円）

	2025/3期2Q		2026/3期2Q		対2025/3期2Q比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
売上高	12,115	100.0%	9,076	100.0%	△3,039	△25.1%
売上総利益	1,644	13.6%	1,754	19.3%	110	6.7%
販売費及び一般管理費	1,201	9.9%	1,300	14.3%	99	8.3%
営業利益	442	3.7%	454	5.0%	11	2.5%
経常利益	480	4.0%	442	4.9%	△38	△8.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	293	2.4%	304	3.4%	10	3.7%

2026年3月期第2四半期 連結貸借対照表（前期末比）



- ✓ 資産 … 主に流動資産の現金預金が18億60百万円減少
- ✓ 負債・純資産 … 主に流動負債の仕入債務が19億59百万円減少

（単位：百万円）

	2025/3期末		2026/3期2Q期末		対2025/3期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
流動資産	16,957	80.5%	14,454	76.9%	△2,503	△14.8%
固定資産	4,115	19.5%	4,335	23.1%	220	5.3%
資産合計	21,073	100.0%	18,789	100.0%	△2,283	△10.8%
流動負債	6,966	33.1%	4,272	22.7%	△2,694	△38.7%
固定負債	814	3.9%	940	5.0%	125	15.4%
負債合計	7,781	36.9%	5,212	27.7%	△2,568	△33.0%
（株主資本）	12,740	60.5%	12,876	68.5%	135	1.1%
純資産合計	13,291	63.1%	13,576	72.3%	285	2.1%
負債・純資産合計	21,073	100.0%	18,789	100.0%	△2,283	△10.8%



3. 2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想



- ✓「北海道新幹線」の一部来期へズレ込み、CP-X工法受注の遅れなどにより減収
- ✓ 利益は、高採算の工事が続いたことや契約条件の最適化の取り組みなどにより、計画通り

(単位：百万円)

		2025/3 期 実績	2026/3期計画 (2025年5月14日 発表)	2026/3期 予想	対2025/3 期実績比		対2026/3期計画比		2027/3期目標 (中期経営計画)
					増減金額	増減率	増減金額	増減率	
売上高	国内建設事業	22,240	21,900	19,950	△2,290	△10.3%	△1,950	△8.9%	25,100
	海外建設事業	951	1,000	950	△1	△0.2%	△50	△5.0%	1,200
	土木建築コンサルティング 等事業	524	600	600	75	14.3%	-	-	700
	計	23,717	23,500	21,500	△2,217	△9.3%	△2,000	△8.5%	27,000
営業利益		1,115	900	900	△215	△19.3%	-	-	-
経常利益		1,164	950	950	△214	△18.4%	-	-	1,500
親会社株主に帰属する 当期純利益		749	650	650	△99	△13.3%	-	-	-
EPS (1株当たり利益)		113.29円	97.89円	97.89円	△15.40円	△13.6%	-	-	-
ROE (自己資本利益率)		5.9%	4.8%	4.8%	△1.1pt	-	-	-	8.0%



4. 本日本日お伝えしたいポイント

- ① キャッシュ創出力の強化
- ② 投資
- ③ 配当

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン（目指すべき企業像）

基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、全てのステークホルダーが豊かさを実感できる

100年企業を目指したサステナビリティ経営の実現

長期ビジョン
(目指すべき企業像)

中期経営計画

「未来を拓く、新たな一歩」

環境とインフラに Innovation

長期ビジョンの達成に向けた **Phase3**

変化・多様化する社会課題に対し、5つの重要戦略で挑戦

中期経営計画
(2024 – 2026年度)

経営理念

人間尊重
技術志向
積極一貫

経営理念

環境認識と事業課題、中期経営計画の要約

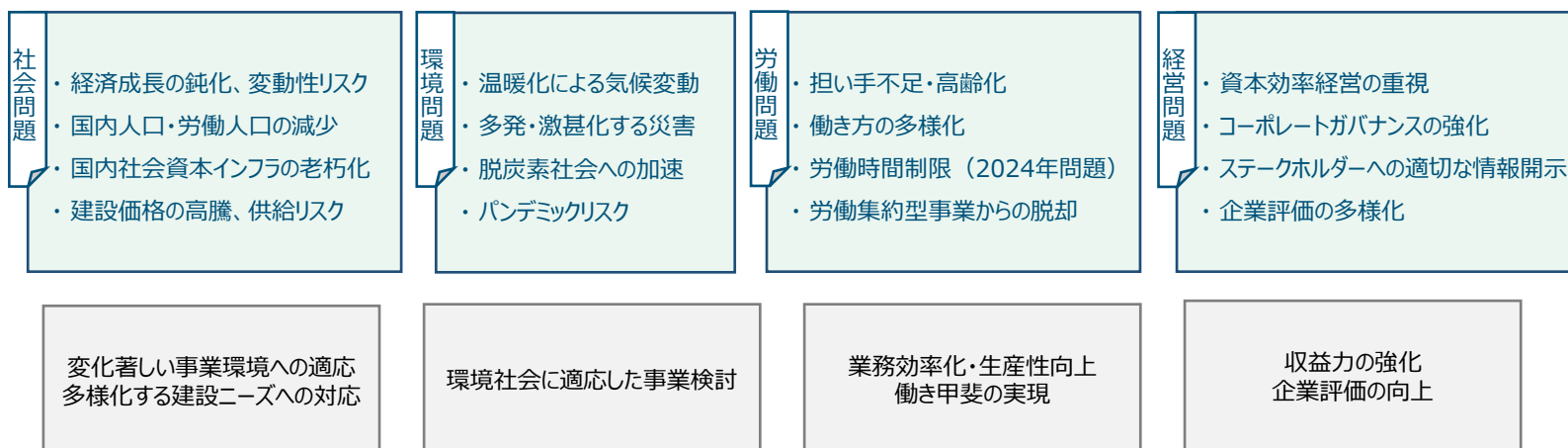
長期
ビジョン

環境
認識

事業
課題

5つの
重要
戦略

100年企業を目指した、サステナビリティ経営の実現



著しい環境変化、事業課題の多様化、成長ビジョンへ「5つの重要戦略」で挑戦

①事業別戦略

※
自社技術の「折り込み」で
中期需要ストックを増大

②開発戦略

新技術の開発を継続し
長期的な成長を促進

③環境・デジタル戦略

環境付加価値の向上
DX化による担い手不足解消

④経営基盤の強化

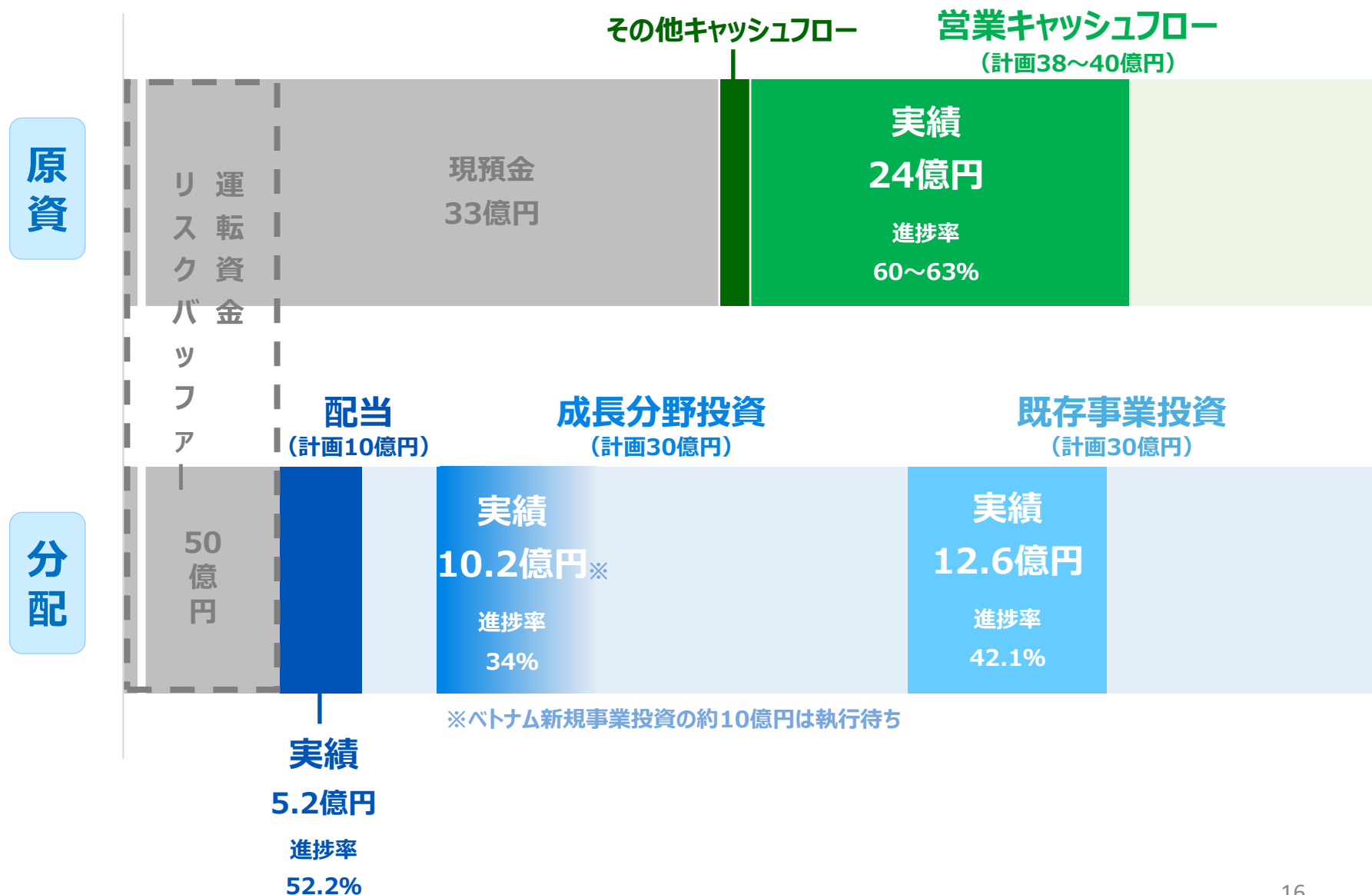
持続可能な成長へ向けた
人財投資、リスク管理体制強化

⑤資本効率経営の推進

株主資本コストを上回る
ROEの実現

※ 折り込み：設計への技術採用

中期経営計画 キャッシュアロケーションの進捗



① キャッシュ創出力の強化



新たな組織編成

2025年6月27日付組織再編により
営業、施工双方を完結できる事業本部制に移行

機能別本部制



事業毎に
機能を一体化

首都圏事業本部

パイル事業本部

地域事業本部

同じ目標に向け力を合わせる姿を実現
業務効率化促進・残業問題解決

KPIの徹底

- 工事毎に目標KPIを設定
- KPIの進捗を目視化したシステム導入
- より精度の高い機械稼働率の確保
- 赤字工事の撲滅
- 徹底した安全・品質管理

売上総利益の確保

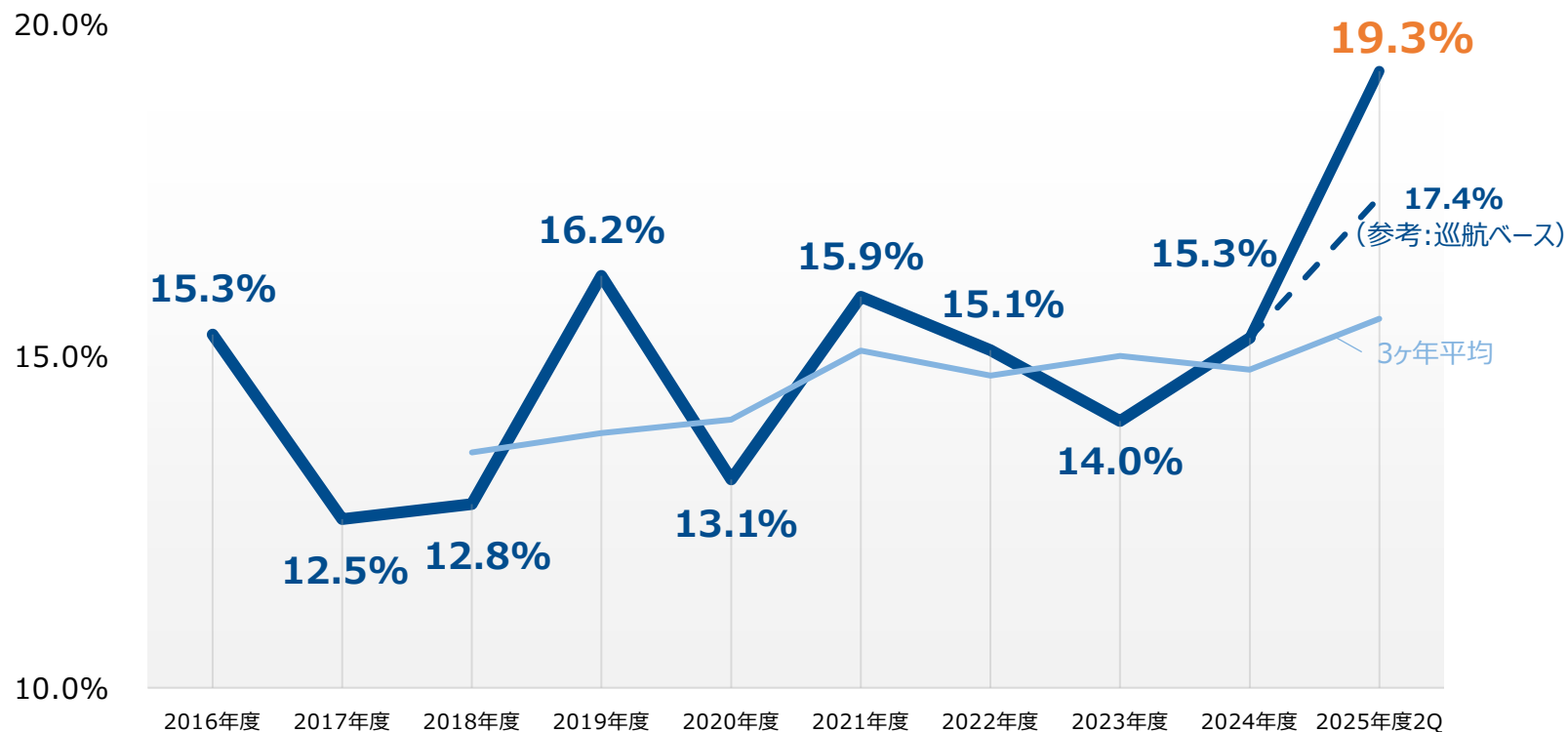


① キャッシュ創出力の強化



コロナ禍以降から物価高騰期の難しい局面においても収益性が向上

売上総利益率推移



① キャッシュ創出力の強化



- ✓ ベトナム経済が回復力を強め、現地企業発注案件が増加
 - ✓ 2024年7月施工事業買収により施工体制を強化
- ⇒ 「製造→**施工**→販売→設計提案」のバリューチェーン構築を着実に実現

施工案件紹介

日系企業発注プロジェクト
コンクリートパイル圧入施工



現地企業発注大型自動車工場
テノラム工法施工





ベトナムコンクリートパイル製造工場の買収基本合意 (2025年7月30日ニュースリリース)

⇒ 「**製造**→施工→販売→設計提案」の一気通貫バリューチェーン構築

譲渡契約締結に向け交渉中



コンクリートパイル製造工場





着実に採用が増加、積極的な営業活動を展開

【テノキューブ工法（浅層地盤改良工法）】

特徴：浅層での経済的な提案が可能
セメント混じりの土（産業廃棄物）を大幅に低減
攪拌状況の可視化により、高い信頼性を実現

環境衛生施設など4件施工
⇒今後も予定物件あり

同一現場内でテノキューブ工法（浅層）とテノコラム工法（深層）の組合せ施工が可能となり
受注の幅が広がる



テノキューブ工法施工写真

【CP-X工法（コンクリートパイル中掘り杭工法）】

特徴：深い支持層でも経済的な提案が可能
高支持力
建設発生残土を大幅に低減
物流倉庫、データセンターなどがターゲット

積極的な営業活動を展開中
設計事務所、ゼネコン**28社**にPR実施

提案可能な工法ラインナップが増えたことにより
TN-Xや液状化対策工法とのセット提案や比較
提案も実施（ワンストップ）

副効果：TN-Xの引き合い増加



②投資 ～気候変動に関する考え方および取り組み～

創業者 安田善次郎の想い



創業者 安田 善次郎

『**基礎工事は建物を支える大事な工事**なのに、工事は下請け任せで手抜きされても分からない。自分でやらなければならない、というのが私の考えだ。そして、町中でドカンドカンと大きな騒音と振動と油煙といった公害を振りまく。これからは公害を振りまくような工事は厳に慎まなければならない。**環境に配慮した低公害工法を開発する必要がある。**』

(1970年5月)

55年も前から環境経営を考えていた

②投資 ～気候変動に関する考え方および取り組み～



【Scope1・2】

電動小型杭打機 (①) や石油代替燃料 (②) を使用し、約100 t -CO₂削減

①2025年5月東京都国分寺市の現場で電動小型杭打機でのテノラム施工を実現



②2024年4月～2025年10月石油代替燃料使用事例

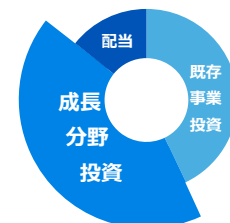
油種	施工場所	使用量	CO ₂ 削減量
RD100	大阪府大阪市	25,000L	65.50t-CO ₂
GTL	東京都八王子市	3,173L	0.71t-CO ₂
GTL	千葉県印西市	5,006L	1.11t-CO ₂
B30		1,150L	0.90t-CO ₂
GTL	神奈川県横浜市	6,360L	1.42t-CO ₂
GTL	埼玉県北本市	3,187L	0.71t-CO ₂
B30	京都府精華町	817L	0.64t-CO ₂
ガソリン100	東京都国分寺市	1,264L	3.31t-CO ₂
GTL	神奈川県横浜市	3,202L	0.71t-CO ₂
ガソリン100	千葉県船橋市 (テックス機材センター)	200L	0.52t-CO ₂
iRD	兵庫県神戸市	7,807L	20.45t-CO ₂
GTL	神奈川県川崎市	7,820L	1.74t-CO ₂
計			97.72t-CO ₂

【Scope3】

兵庫県神戸市の杭工事現場で電炉鋼管や高炉C種※を使用し、約500t-CO₂を削減

※製鉄所で発生する副産物である高炉スラグを多く含んだセメントの一種

今後も積極的に脱炭素材・低炭素材の使用を推進



②投資 ～気候変動に関する考え方および取り組み～



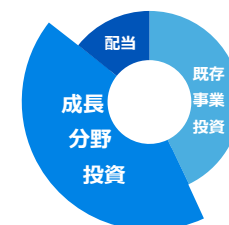
地球環境に大きな影響を与える気候変動への対応を重要課題と位置付け
地球環境へ配慮した事業を継続し、気候変動に対応する施策に取り組む

(単位：t-CO2)

指標	2022年度※1 (基準)	2030年度		2024年度※1	
		削減目標※2	対2022年度比	実績	対2022年度増減
Scope1・2	4,959	2,000	△40%	4,298	△661
Scope3	278,405	60,000	△20%	252,418	△25,987

※1.単体の実績

※2.2024年3月に策定





持続的成長を支える基盤整備と新たな働き方の推進



2025年10月30日ニュースリリース

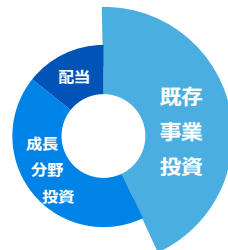
- ✓ 社員一人ひとりがワクワクドキドキを感じられるオフィス空間でイノベーションを促進し、新たな価値を育てるインキュベーターとしての機能を備えた環境を整備
- ✓ 社会的価値と経済的価値の両立を更に推進し、環境価値にも配慮した次世代につながる持続可能な事業展開を加速

移転概要

【移転先】住友芝公園ビル

【所在地】東京都港区芝二丁目31-3他（地番）

【移転時期】2026年度 第2四半期中（予定）



②投資～人財育成～



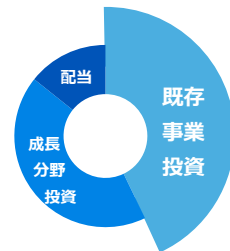
社会が求める価値を常に創造し続けるためには、優秀な人材を確保し「人財」に成長させることが使命と認識し、多彩な研修を実施

研修名	受講者数（※1を除き単体）	
	2024年度	2025年度
新入社員研修	3名	6名
次世代経営者育成研修	11名	8名
GM・GMフォロー研修	17名	6名※2
コンプライアンス研修	218名	全社員※2
女性社員研修	23名※1	-
役員スキルアップトレーニング	-	20名
専門職研修	-	25名※2
課長研修	-	26名※2

※2.下期実施予定

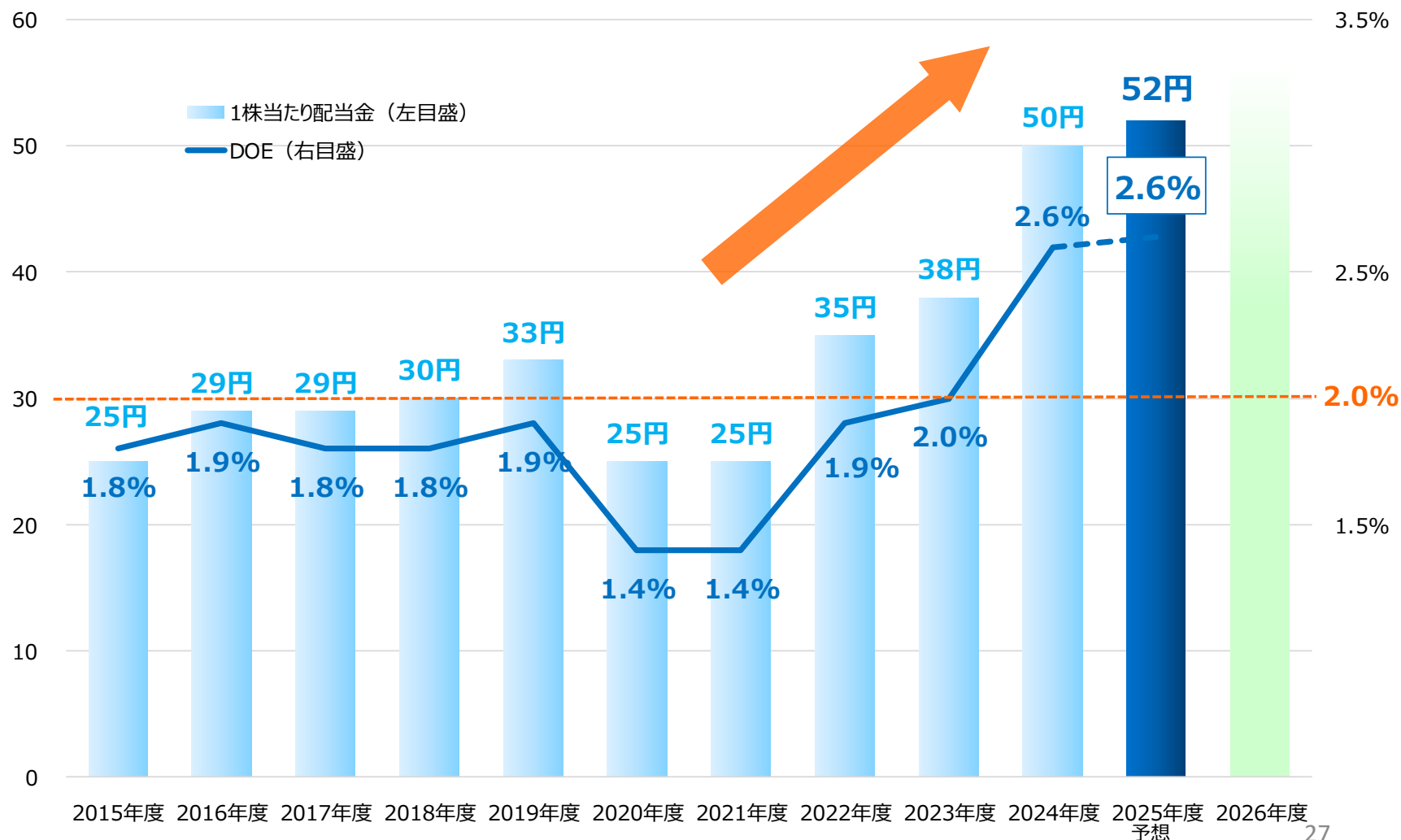


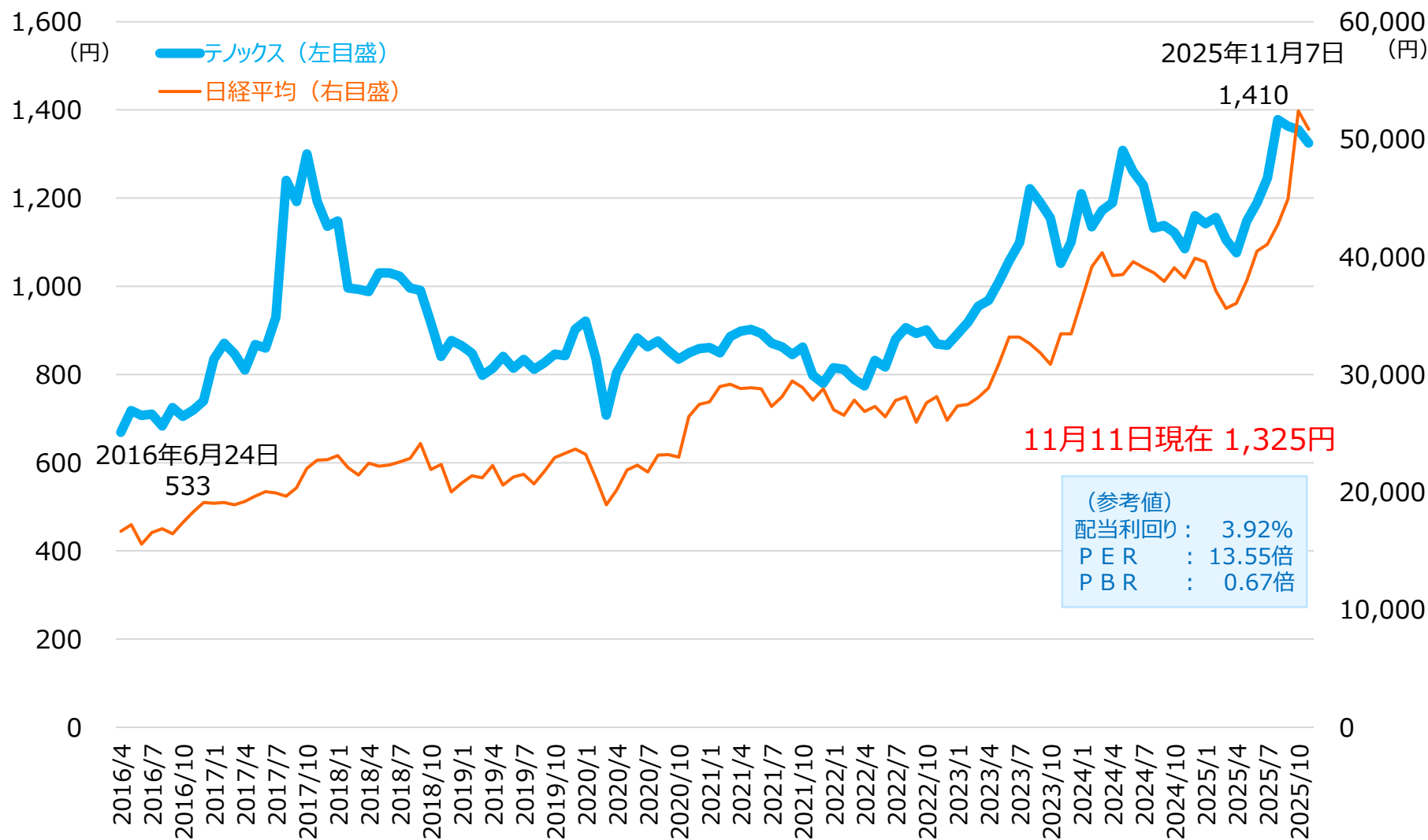
次世代経営者育成研修の様子





『DOE2%以上』の方針を大きく上回る配当を実施







ご清聴ありがとうございました



電動小型杭打機「DHJ-15E」試作機



5. ご参考資料

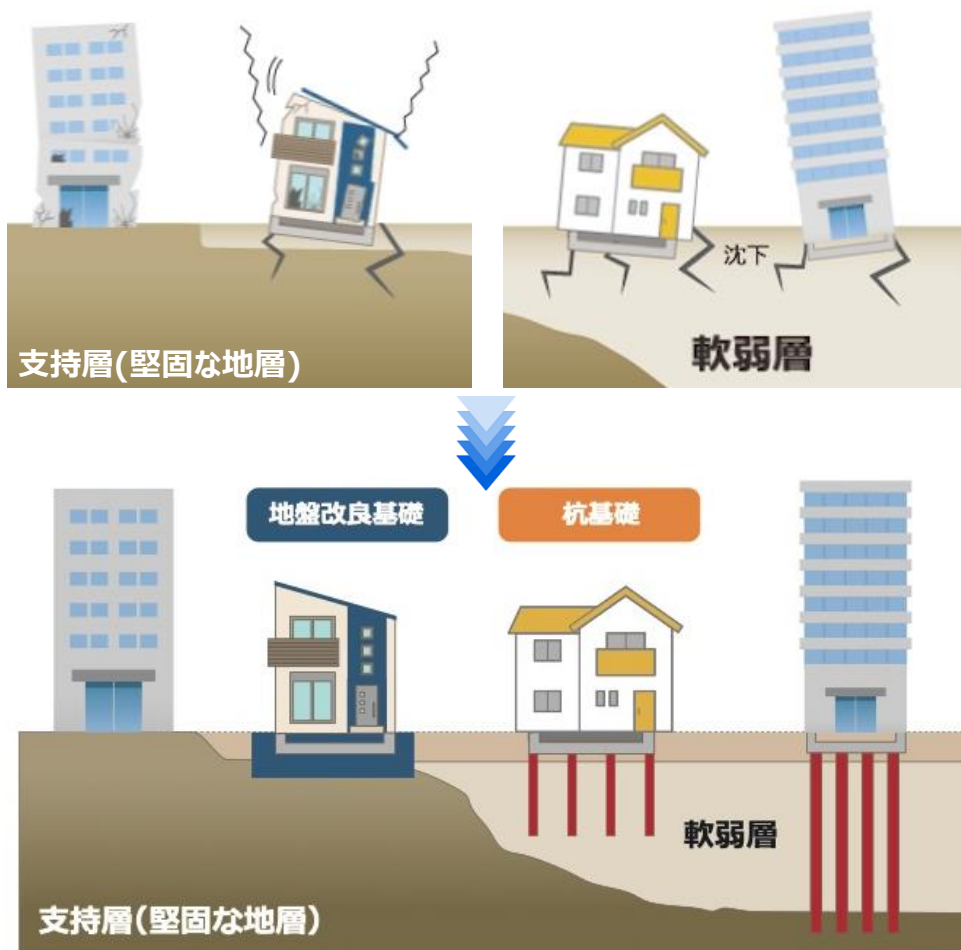
テノックスプロフィール

私たちテノックスは、住宅、商業施設、病院、倉庫、工場、鉄道、道路など、身の回りにある様々な構造物を利用するすべての方々に、基礎工事を通して「安全」と「安心」をお届けしています。



基礎工事とは

建築構造物や土木構造物の荷重を地盤に伝え、
安全に支える構造を築造すること



日本は地震が多いうえ、人口の大半が
河川が運んだ軟弱な土砂が堆積した
平野に集中している。

このような地盤に建物などを建てる際は、
軟らかい地盤の下方にある硬い地盤
（支持層）で支えねばならず、地盤と
建物の条件に適した土台作り＝基礎
工事が必要となる。

基礎工事会社の種類

- 工事特化型 …… 工事のみ行う
- 工法開発型 …… **工事の方法を開発** + 独自工法の工事を行う



独自で開発した工法（知的財産権）を多く保有するため、
優位に展開することができる

**テノックスは、工法開発型 基礎工事会社
技術力のある企業として、業界で名前が知られています。**

これまでに

- ・ 建築構造物向けの『**テノコラム工法（地盤改良工法）**』
- ・ 土木構造物向けの『**ガンテツパイル工法（鋼管ソイルセメント杭工法）**』
- ・ 戸建て住宅向けの『**ピュアパイル工法（地盤補強工法）**』

など数多くの自社工法を開発、現在保有特許件数は100件以上

テナックスの概要

社名	株式会社テナックス (英訳名) TENOX CORPORATION
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・ コンクリートパイル、鋼管パイルの販売 およびその杭打工事の請負 ・ 地盤改良工事の請負
従業員数	連結388名 (2025年9月30日現在)
拠点・ グループ会社	国内拠点：11ヶ所 グループ会社：国内4社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 スタンダード (証券コード：1905)

生年月日：1959年4月11日生

出身地：神奈川県川崎市

出身大学：京都大学 経済学部

特技：寝つきが早い

略歴：1983年4月 住友商事(株)入社

2003年9月 住商セメント九州(株)代表取締役社長

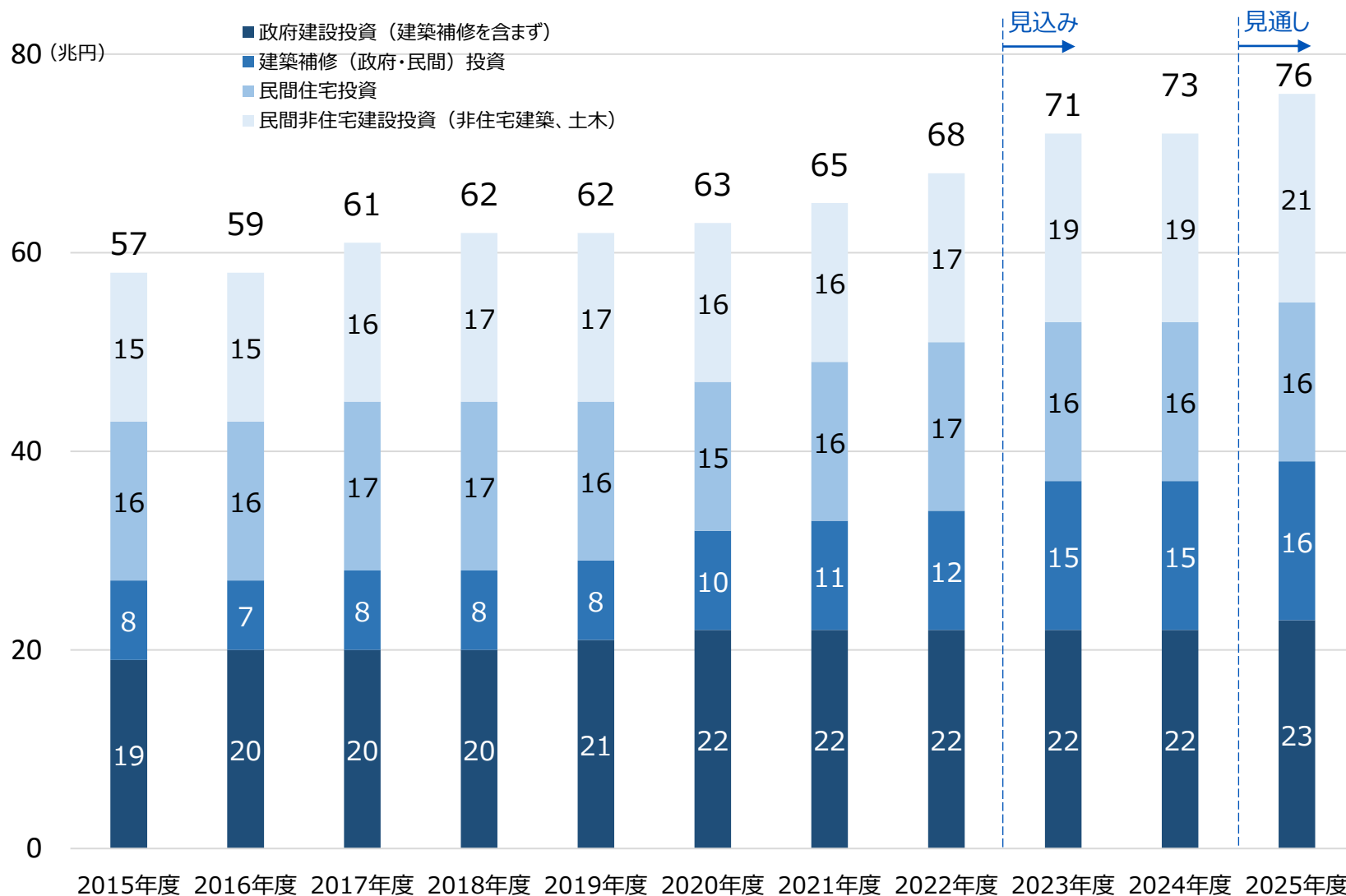
2017年6月 アイジー工業(株)代表取締役社長

2021年10月 当社入社

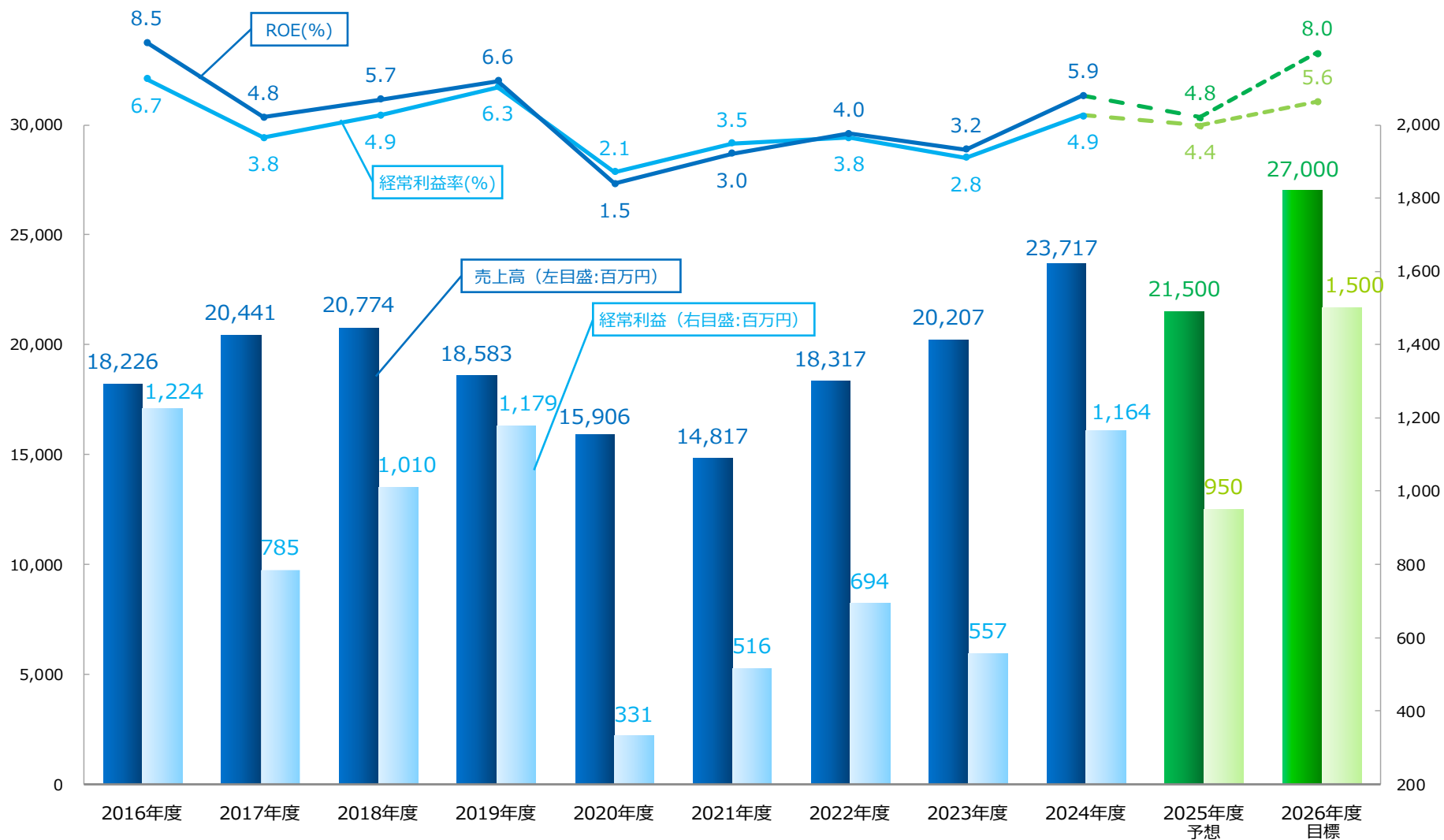
2024年6月27日 代表取締役社長就任



市場環境:建設投資額（名目値）の推移



出典：令和7年度（2025年度）建設投資見通し 概要（国土交通省）





IRに関するお問合せ

- IR担当部署 管理本部 企画部 経営企画グループ
- E-mail ir@tenox.co.jp
- URL https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/
- ホームページ <https://www.tenox.co.jp/>

本資料に掲載しております数値目標や将来見通しは、本書面の発表現在における当社の戦略、目標、また仮定に基づいたものであり、将来における業績や展開に対し、確約や保証を与えるものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。



株式会社 テノックス